

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ		
事業名	高校生と住民が育み支え合う子どものサードプレイスづくり事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：イオン・さくらんぼWAON 子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	川西町	事業費	919,284 円
		うち助成金額	917,448 円
事業実施期間	令和5年6月6日～令和6年2月29日まで		

事業目的・実施内容	（事業目的） コロナ禍の社会的悪影響は続いている。その中でも、片親世帯や低所得世帯の困窮は継続し支援が望まれている。この課題解決には学びの場や食育活動の場など、家庭や学校に次ぐ第3の居場所づくりが、「サードプレイス」として全国的に展開されている。私たちは3年間、地域食堂などに取り組みで居場所づくりの必要性を認識してきた。本事業では、高校生と住民が一体となったサードプレイス設立に取り組み、小中高校生の居場所づくりを地域団体との協働によって実現し、子どもの健全育成や社会活動参加醸成などの担い手育成とすることを目的とする。
	（実施内容） サードプレイス設立を広く情報発信しながら、小中高校との協働、町内企業や団体との連携を進めた。また、農村地域という特徴を活かし農園を居場所に活用した食農や食育活動を展開した。 具体的事業は 1. サードプレイスづくり・6月から2月まで、町内のフリースペースを活用しWIFI機能を設置した子どものカタリバ・タマリバづくりに取り組んだ。2. サードプレイスを活用した学びの場・大学生や専門家と連携した英会話や食育を中心にした講座を開催。月1回、夏休み4回、冬休み2回、合計15回。3. こども農園は、自然や農業を体験する場として開設したが猛暑もあって実際は合計4回。4. ユースボランティアの設立と住民連携・高校生を中心にしたユースボランティア組織を設立し住民と連携した食育や環境美化などの社会活動実践と交流を図った。随時、合計10回。



【写真①こども農園】



【写真②学びの場「食育」】

事業の成果	1. サードプレイスづくりは、フリースペースを活用し、新たにWifi機能を設置するなどネット環境も整えサードプレイスが完成した。 2. サードプレイスを活用した学びの場開催は、大学生や専門家と連携した英会話・食育などの講座や地域学講習会を開催した。学びの場15回（248名）、学びの場交流4回（1390名）、合計19回（1638名）。 3. プレイパークとしてのこども農園は、自然や農業に触れ体験するプレイパークとしてこども農園を開設した。月1～2回、合計4回（123名）。 4. ユースボランティア組織の設立と住民連携は高校生に呼び掛けユースボランティア組織が設立した。ユースボランティア7回（578名）、住民連携10回（1319名）。
今後の展望	1. 支援企業や団体の拡充が実現し、自主運営が可能にする。 2. サードプレイスのクラウドファンディングなどに挑戦する。 3. 高校生のボランティア組織の運営を支援し、継続拡大を支援。 4. 令和8年度に開設予定の川西町地域振興拠点施設への高校生や住民の運営参加を誘導し、社会活動の活性化を涵養する。



【写真③まちなか学習】



【写真④ユースボランティア】



【写真⑤学びの場（英語学習）】

団体概要

団体名 特定非営利活動法人
 えき・まちネットこまつ
 代表者 理事長 江本一男
 URL <http://www.npo-ekimachi.org/>
 住所 東置賜郡川西町大字上小松1644
 電話0238-42-2533 FAX0238-42-2730
 Email eki-mn-7@ms5.omn.ne.jp